

科目名 (科目番号)	がん医療科学 (時間割参照)	教員名 本間 光彦	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	B316研究室	
授業概要	日本人の3大死因を占めるがんに対する医療に関して、その科学的基礎は診療放射線技師にとって必要不可欠な基礎医学となる。講義では、まず正常細胞の発生・増殖・死について学習する。次のがん細胞の発生と特徴について学習することにより、がんの発生・増殖・転移についての基礎理論と概念に関して生命科学の視点から理解と知識を深める。また、診療放射線技師の立場として、がん患者の放射線治療に関する説明・相談に必要な基礎的手法についても学習する。						
目的・目標	目的:がんの性質と動態を理解し、がん医療の概念と基礎理論に関して生命科学の観点から理解する。 目標:①がんがどのようにして発生・増殖・転移するかを理解できる。 ②診療放射線技師の立場として、がん患者の放射線治療に関する説明・相談の基礎能力を身につける。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	正常細胞の誕生・増殖・死①	到達目標:正常細胞の恒常性の維持機構、エネルギー産生法について理解する。 学習内容:正常細胞の恒常性・エネルギー産生について学習する。				
	2	正常細胞の誕生・増殖・死②	到達目標:正常細胞の増殖機構、細胞死の制御機構について理解する。 学習内容:正常細胞の増殖機構と死について学習する。				
	3	がん細胞の誕生・特徴①	到達目標:がんの特徴・増殖、がん細胞の細胞死機構の変化について理解する。 学習内容:がんの特徴とがん細胞の増殖機構について学習する。				
	4	がん細胞の誕生・特徴②	到達目標:遺伝子の変異をもたらす原因について理解する。 学習内容:がんの原因について学習する。				
	5	がん細胞の転移	到達目標:人はどのようにがんで死亡するのかを理解する。 学習内容:がん細胞の転移について学習する。				
	6	がん患者の心理状態	到達目標:がん患者の心理状態について理解する。 学習内容:がん患者の心理状態について学習する。				
	7	傾聴	到達目標:傾聴について理解する。 学習内容:傾聴の仕方について学習する。				
	8	共感	到達目標:共感について理解する。 学習内容:共感の仕方について学習する。				
成績評価の方法・基準	確認課題（20%）＋期末試験（80%）（対面、オンライン共通）						
教科書	やさしい腫瘍学ーからだのしくみから見る”がん”ー		小林正伸			南江堂	
参考図書	改訂版 医療被ばくー患者さんの不安にどう答えますか？ー		本間光彦・諸澄邦彦			ピラールプレス	
教員からのメッセージ	がんについて理解するためには、まず、正常細胞の増殖機構と細胞死について理解することが重要です。また、患者に対して放射線治療に関する説明・相談を行うことが求められております。しっかり予習と復習を行って授業に臨んで下さい。病院で勤務した診療放射線技師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。						